

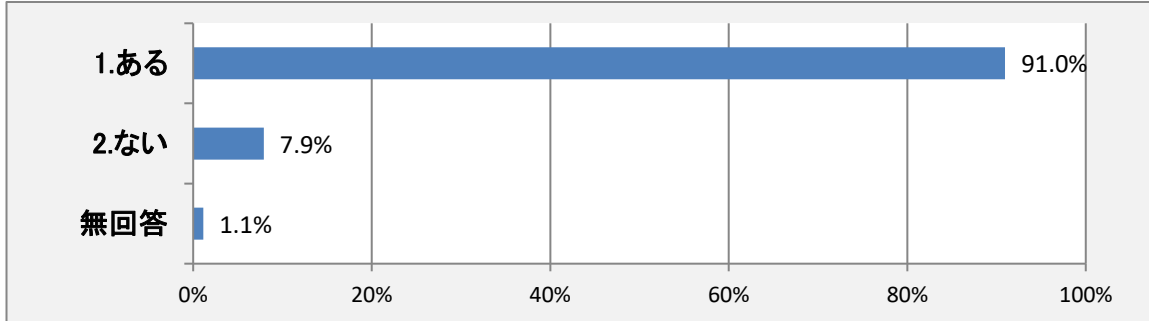
社会福祉法人 筑西市社会福祉協議会
第4次地域福祉活動計画に関するアンケート集計結果

令和4年度調査(n=177)

■広報関係

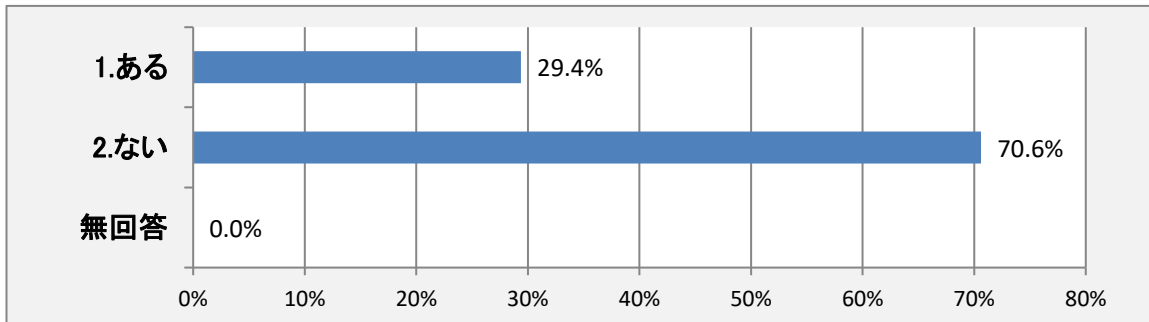
問1 社協が発行している『広報まごころ』を読んだことはありますか

全体(n)=177



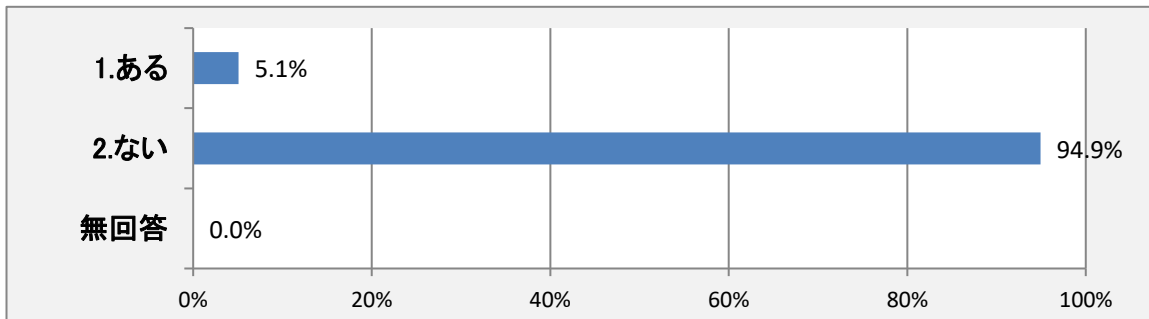
問2 社協のホームページ(まごころネット)を見たことはありますか

全体(n)=177



問3 社協のSNS(フェイスブック・ツイッター)を見たことはありますか

全体(n)=177



問4 広報紙やホームページ等で、発信してほしい情報・知りたい情報はありますか(自由記述)

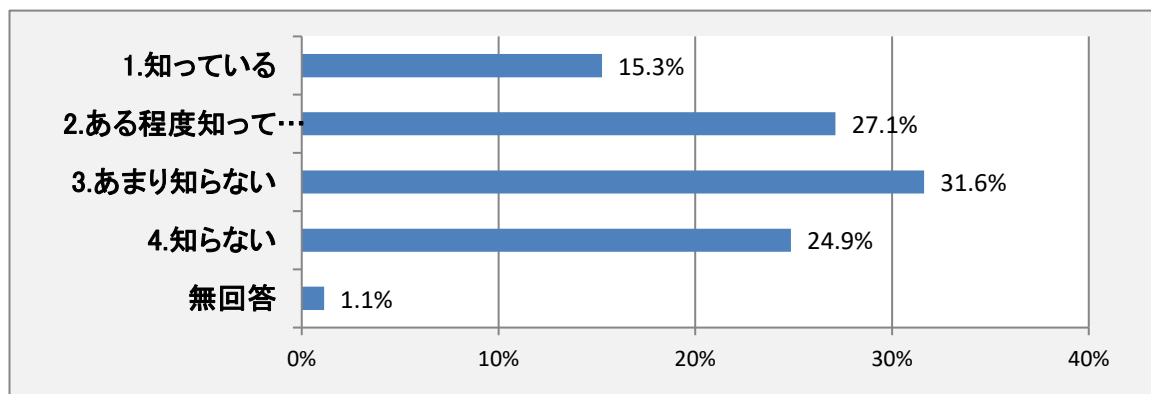
【自由回答】

- ・地域での活動(住主体の活動)
- ・筑西市全体のボランティアの情報。
- ・災害時の社協活動状況(内容等)。鬼怒川氾濫時の事例など。
- ・社会福祉協議会が展開する事業の様子は『広報まごころ』である程度分かります。その他、社会福祉協議会が関わらなくても住民が自然に地域で連携を図り、ある程度うまく機能している地域があれば紹介してもらえたら各地域で参考になるのではないかと思います。
- ・支援制度、保障制度が多すぎて、全てを理解が困難。もう少し簡略した内容(一括で)冊子等があった方が良いでしょう。年齢的に理解がむずかしすぎる為。情報等がバラバラすぎる。
- ・今回のアンケートで知りました。パソコンで確認でき、今後活用を図りたい。幅広い活動内容を確認しました。
- ・小冊子が出回りすぎて、目を通さないのが多い。
- ・障がい者のスポーツ大会等の情報。
- ・各施設や事業の内容をどのような人が何を活動等しているのかくわしく情報流してほしい。
- ・地域の小さい(少人数)活動の調査・取材記事。
- ・社会福祉の事業があまりにも広い範囲で実施されていて、自分はどう関わりをもったらよいのか分からなくなる。支援する側で少しでもがんばれたら幸いと思った。しかし、社協事業の構造的なしくみについて、常に知る機会が必要だと感じた。
- ・支援される側になったとき、利用方法がよくわからないと思う。70才くらいになったら、市民全員研修会を開いて社協の利用方法の研修会を開催してみてもどうか？
- ・福祉等に関する。5年後、10年後の「予測されるシミュレーション(姿)」をグラフ等で視覚的にわかりやすく見られたらありがたいです。
- ・ヤングケアラーについて。
- ・高齢者でパソコンをやらない人は多いし、広報紙はほかの市報、議会だよりと一緒にしてしまうし、活動の逐次報告(社協だより)を毎月のように民生委員にたくしてはどうですか？
- ・避難行動要支援者支援に関する情報。→ 社会福祉協議会の役割・用語の解説(災害時地域リーダー等)・福祉避難所の開設・個別計画の作成
- ・地域で開催される「サロン」の開催状況。
- ・元気ぷらす教室日程表が見やすく(色分けされていて)良かったです。これから継続して下さい。
- ・事業内容の特集を組み、社協さんへの興味関心が高められるといいと思います。
- ・高齢者や障がい者等の情報は、かなり載っていますが、子育て支援や一人親世帯への情報が少ないと思います。また、障がい(軽度)を持つ子育て世代への情報があればいいかなと思います。

■介護予防事業

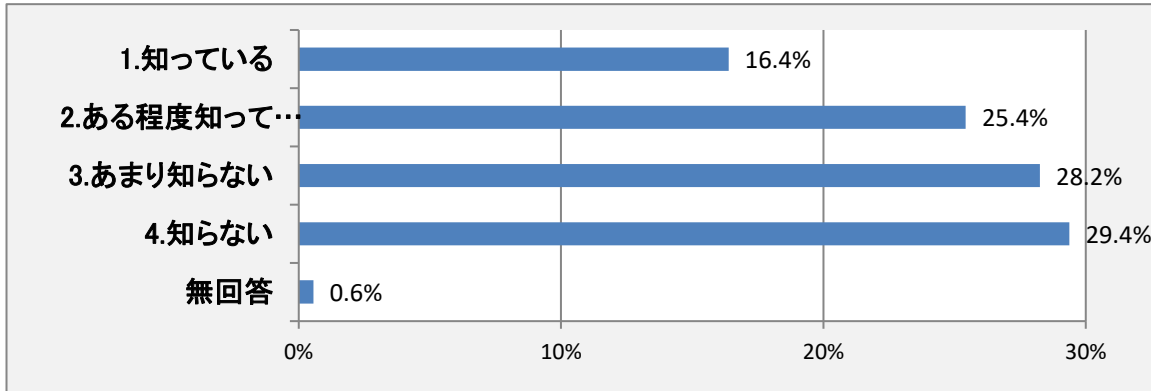
問5 元気ぷらす教室を知っていますか

全体(n)=177



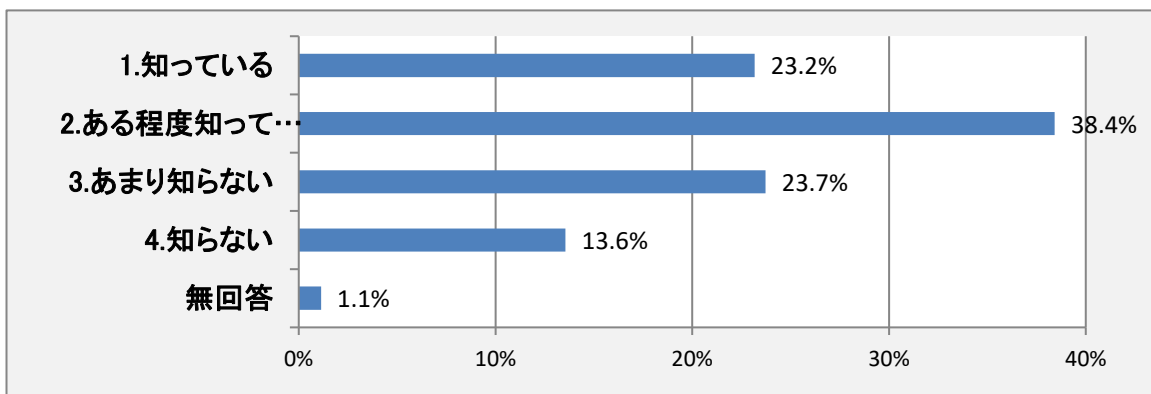
問6 生きがいサロンを知っていますか

全体(n)=177



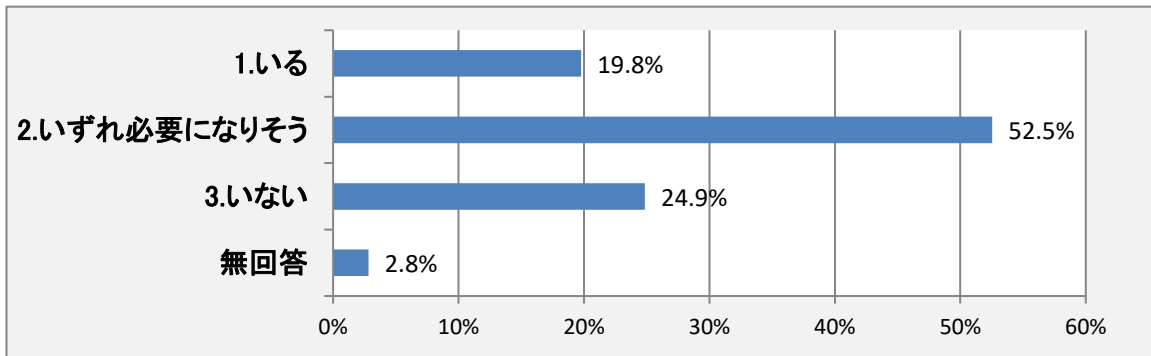
問7 生きがい講座を知っていますか

全体(n)=177



問8 現在、関わりのある方や地域の方で、介護予防事業を知らせたい方はいますか

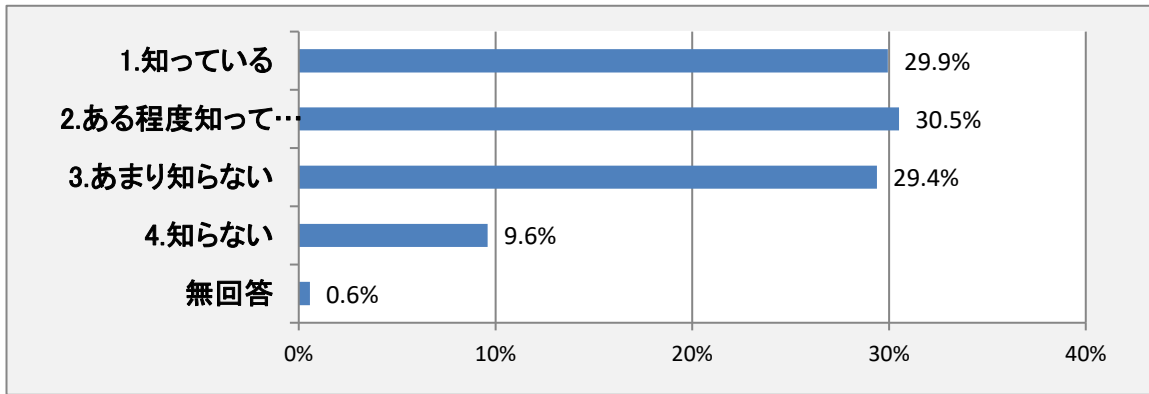
全体(n)=177



■まごころ在宅福祉サービス事業

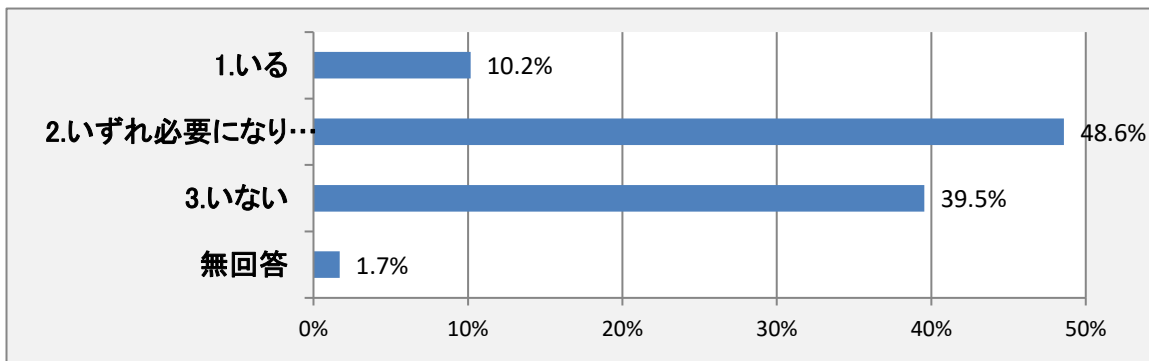
問9 まごころ在宅福祉サービス事業を知っていますか

全体(n)=177



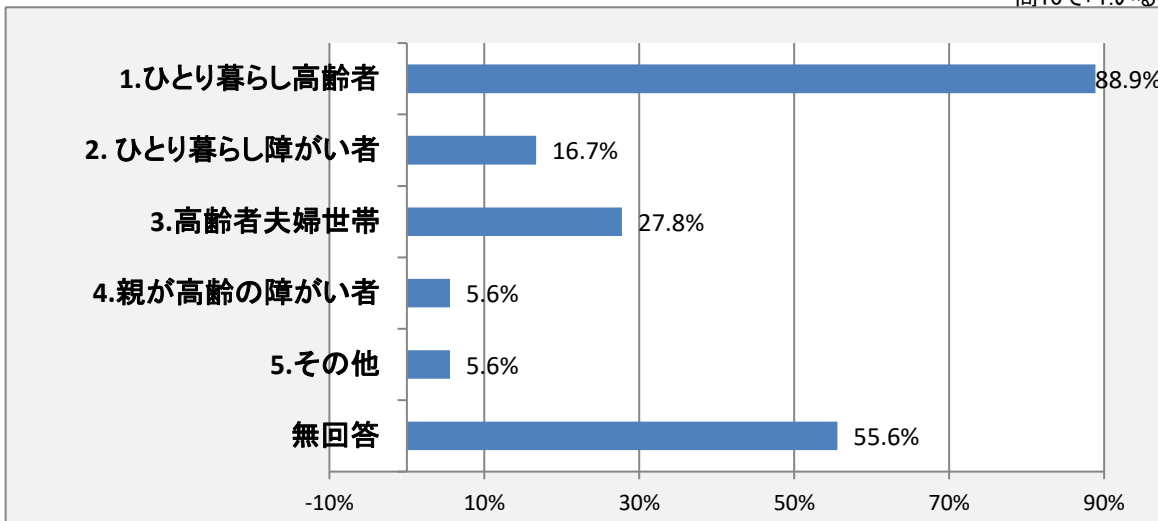
問10 現在、関わりのある方や地域の方で、まごころ在宅福祉サービス事業のお手伝いが必要な方はいますか

全体(n)=177



問11 問10で「1.いる」と答えた方は、該当するものを選んでください(複数回答)

問10で「1.いる」と答えた方(n)=18



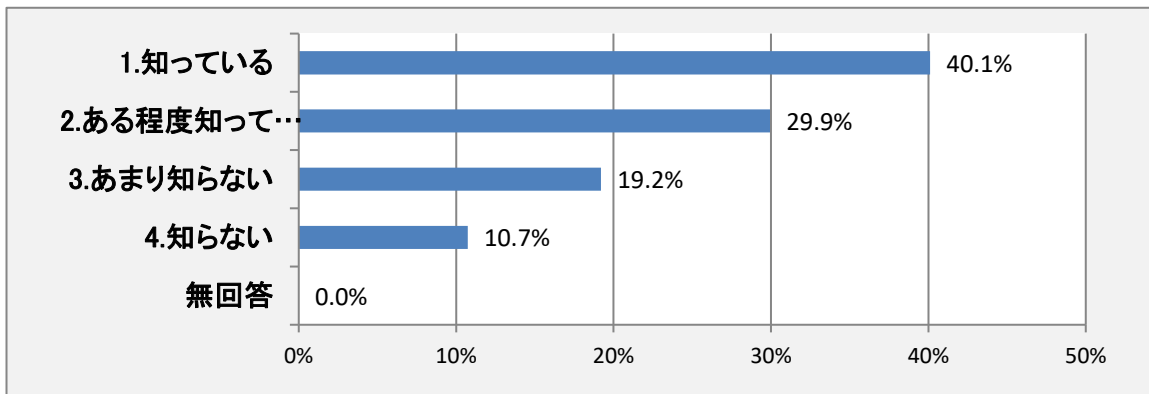
(その他回答の内容)

・2人目を妊娠中で近くに身寄りの方がいない

■小口資金

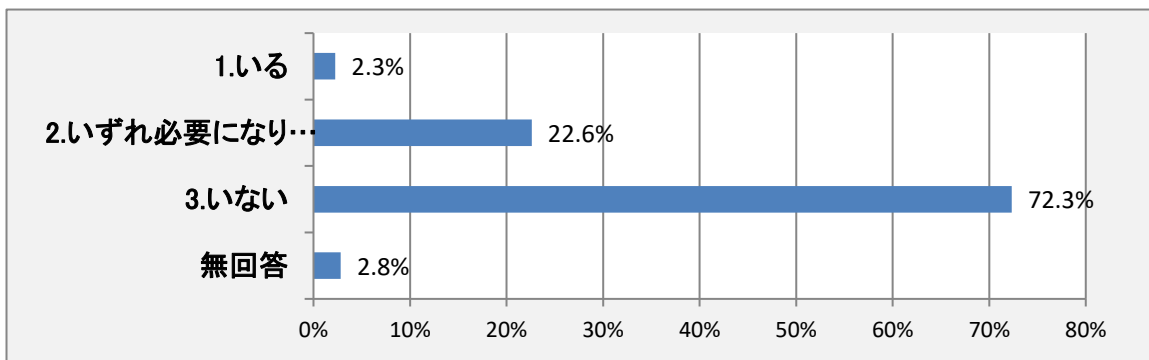
問12 小口資金を知っていますか

全体(n)=177



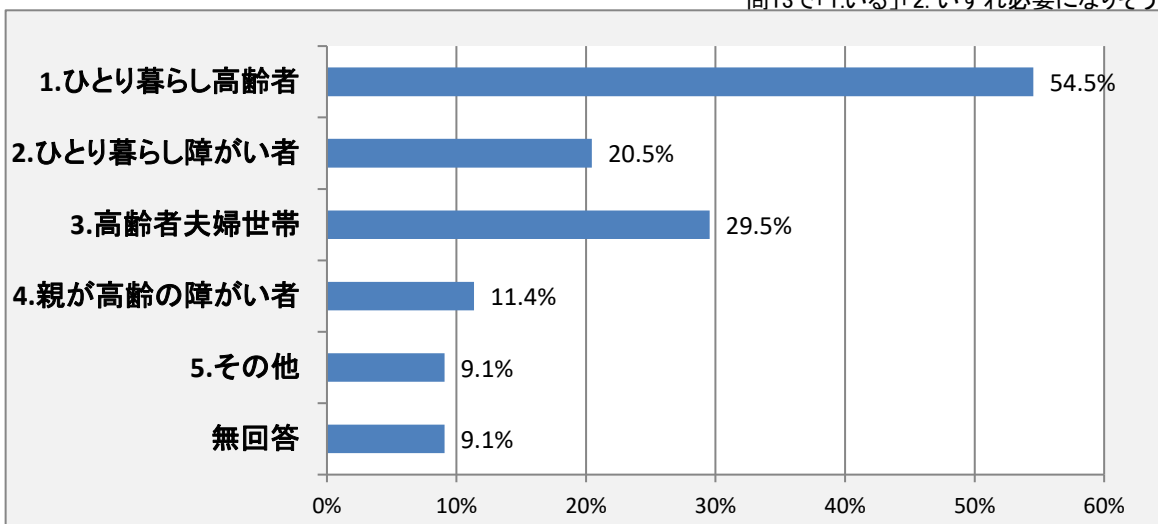
問13 現在、関わりのある方や地域の方で、小口資金が必要な方はいますか

全体(n)=177



問14 問13で「1.いる」「2.いずれ必要になりそう」と答えた方は、該当するものを選んでください(複数回答)

問13で「1.いる」「2.いずれ必要になりそう」と答えた方(n)=44



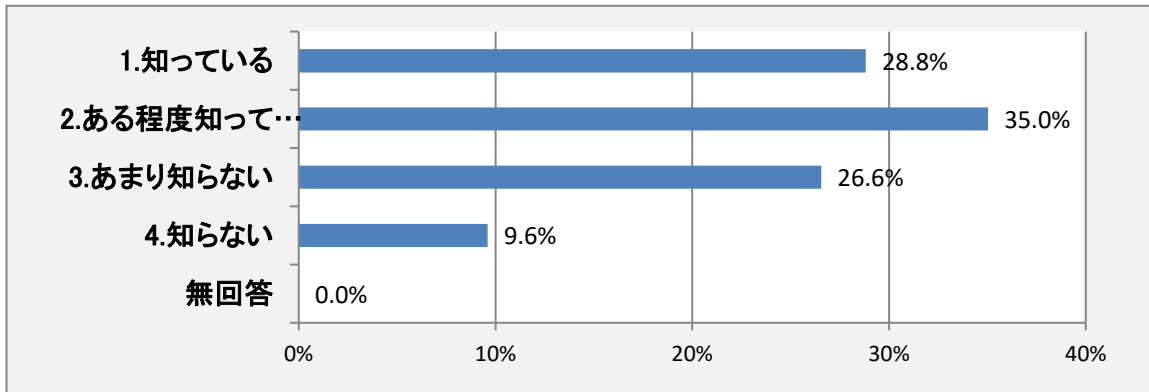
(その他回答の内容)

- ・母子家庭
- ・低所得者世帯で子どもが多い家庭

■生活福祉資金

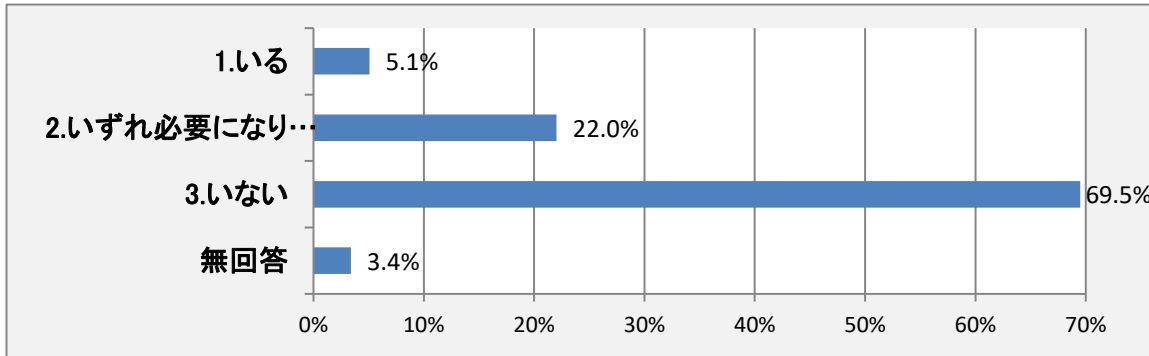
問15 生活福祉資金貸付制度を知っていますか

全体(n)=177



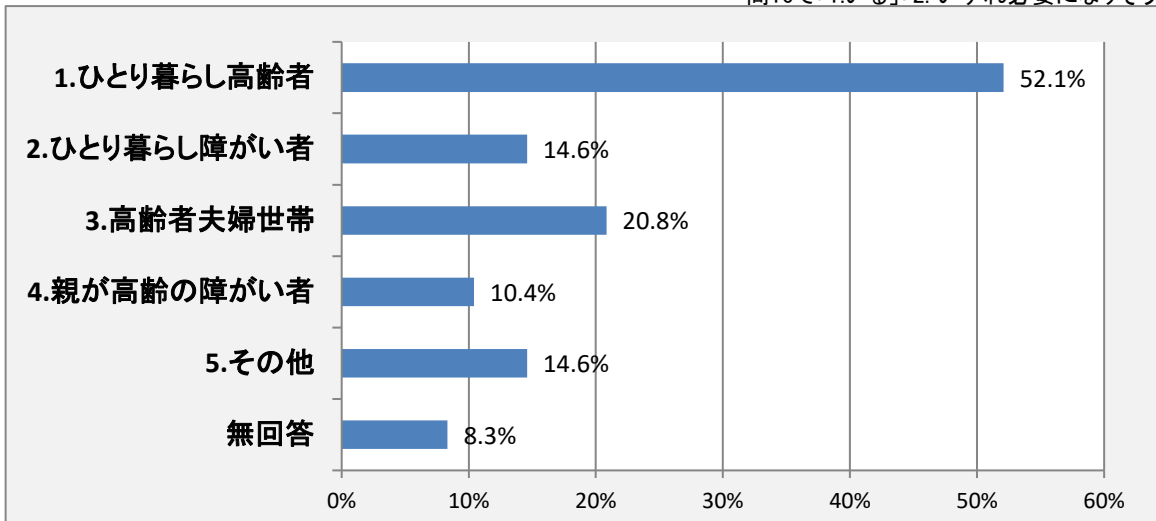
問16 現在、関わりのある方や地域の方で、生活福祉資金貸付制度が必要な方はいますか

全体(n)=177



問17 問16で「1.いる」「2.いずれ必要になりそう」と答えた方は、該当するものを選んでください(複数回答)

問16で「1.いる」「2.いずれ必要になりそう」と答えた方(n)=48



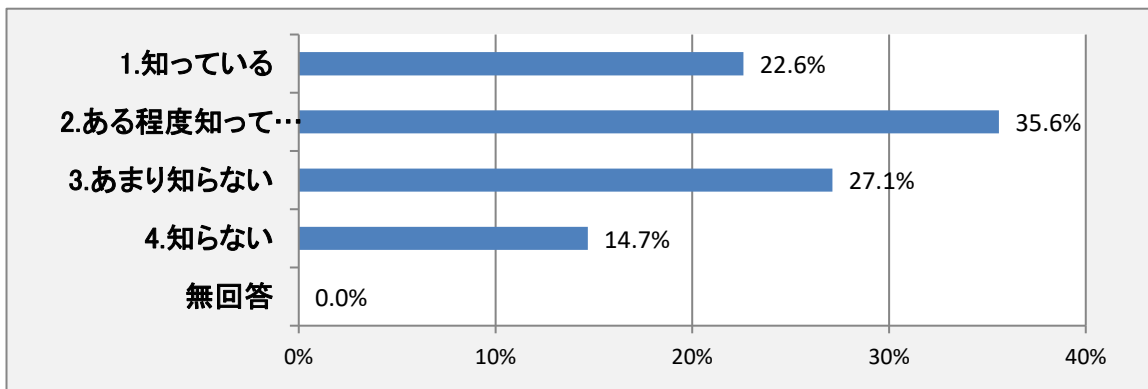
(その他回答の内容)

- ・母子家庭
- ・学生
- ・親が高齢
- ・障害者夫婦
- ・一度病気で倒れたことがある男性の一人暮らしの方

■日常生活自立支援事業

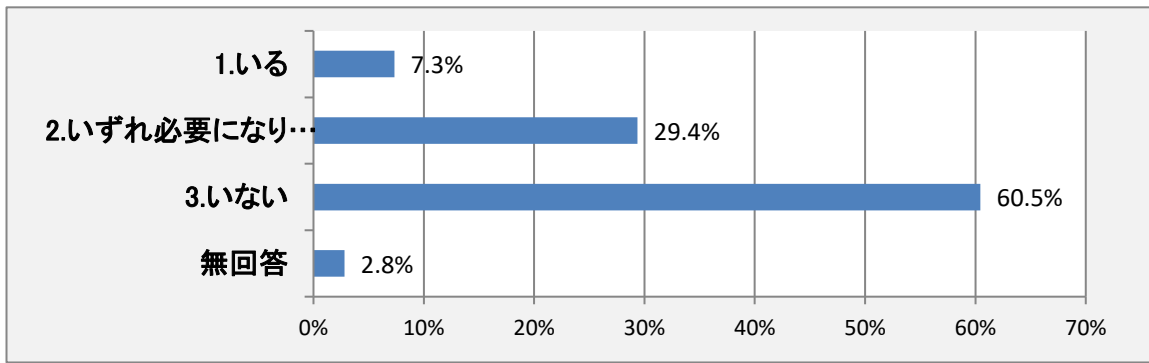
問18 日常生活自立支援事業を知っていますか

全体(n)=177



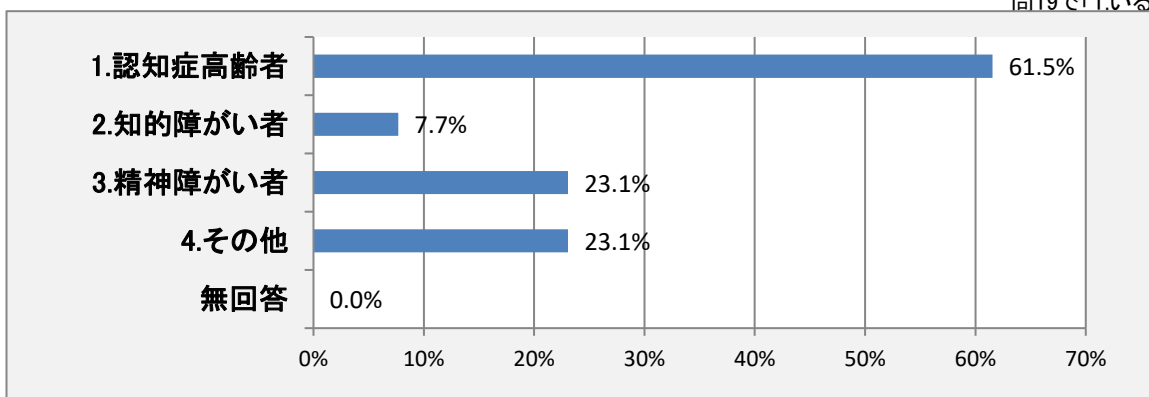
問19 現在、関わりのある方や地域の方で、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理のお手伝いが必要な方はいますか

全体(n)=177



問20 問19で「1.いる」と答えた方は、該当するものを選んでください(複数回答)

問19で「1.いる」と答えた方(n)=13

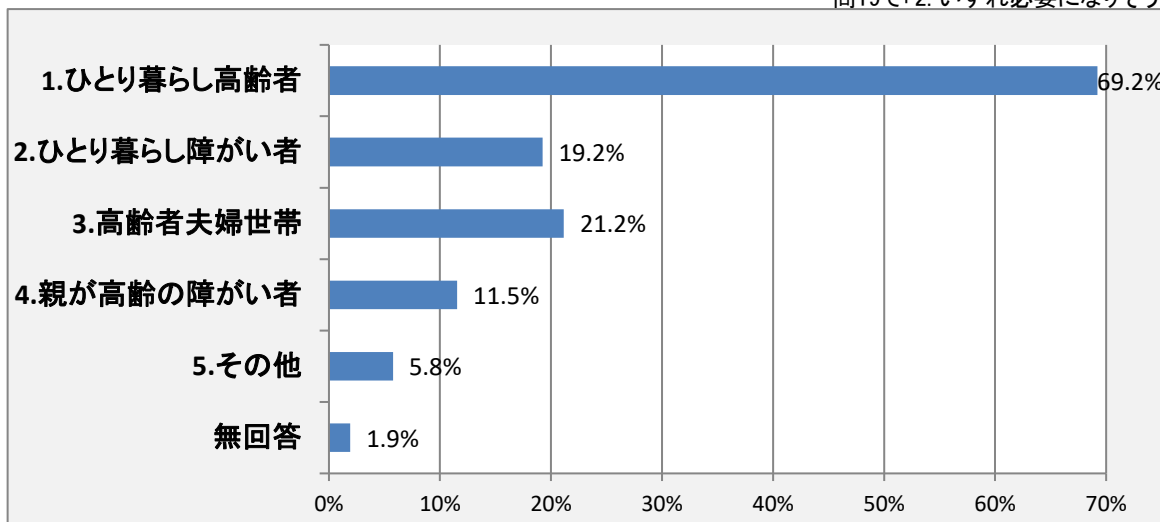


(その他回答の内容)

・目が見づらい

問21 問19で「2. いずれ必要になりそう」と答えた方は、該当するものを選んでください(複数回答)

問19で「2. いずれ必要になりそう」と答えた方(n)=52



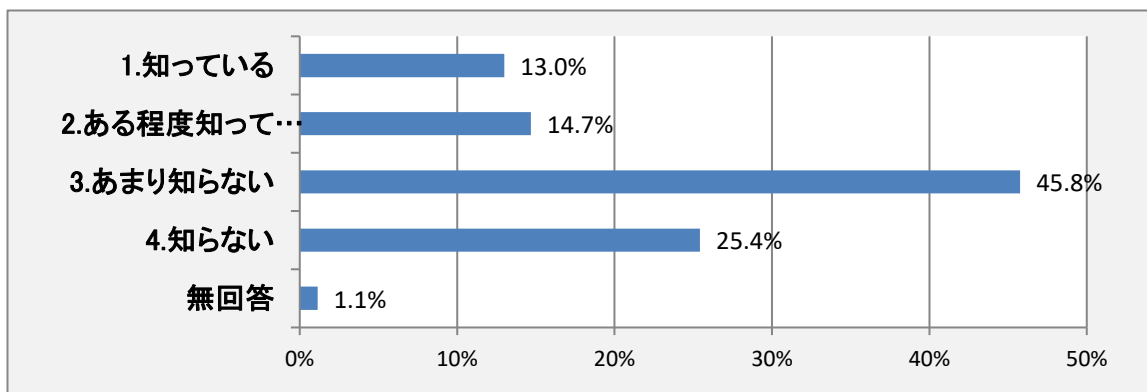
(その他回答の内容)

- ・兄弟とも発達障がいがある
- ・母と子の二人暮らしで母が要介護高齢者、子が障がい者
- ・今は家族がいるが、高齢である

■生活困窮者自立支援制度(自立相談支援事業・家計改善支援事業)

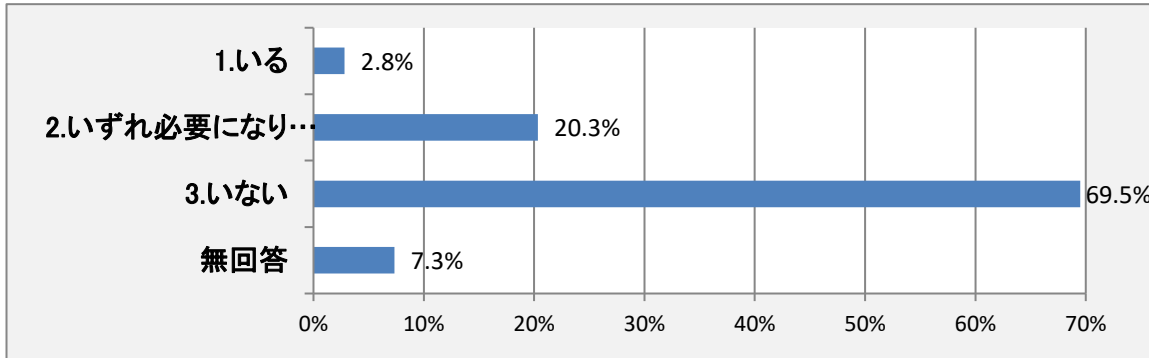
問22 自立相談支援事業・家計改善支援事業を知っていますか

全体(n)=177



問23 現在、関わりのある方や地域の方で、自立相談支援事業・家計改善支援事業が必要な方はいますか

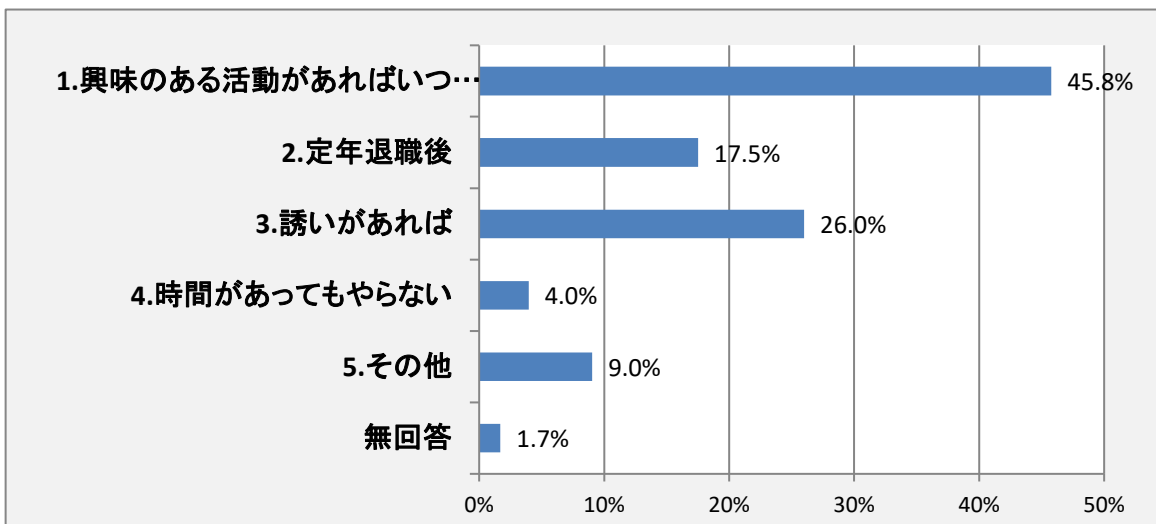
全体(n)=177



■ ボランティア活動

問24 ボランティア活動を始めるとしたら、どのようなタイミングが望ましいですか(複数回答)

全体(n)=177

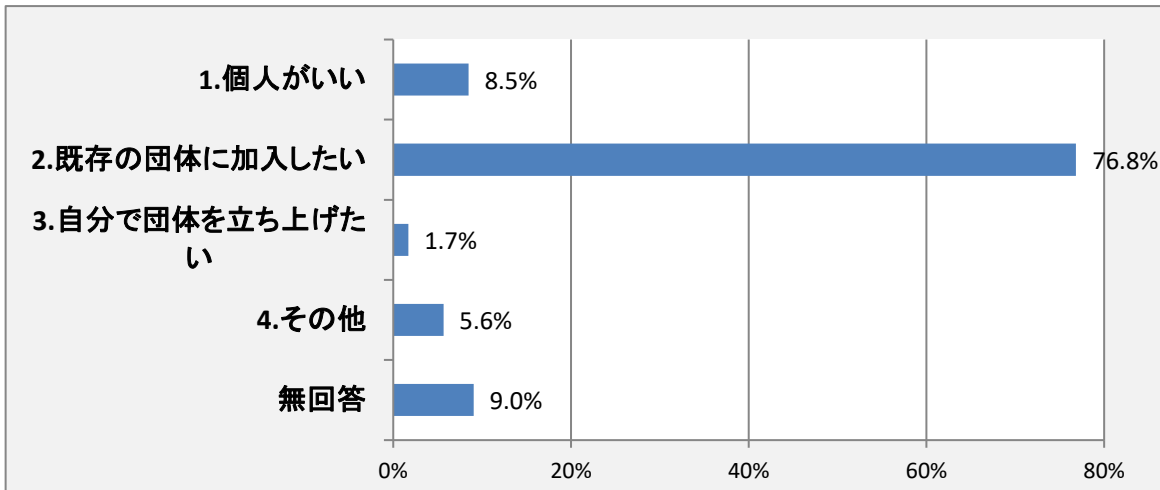


(その他回答の内容)

- ・時間があって興味がある活動があれば
- ・自分の時間が使えるようになったら。
- ・自分にできる事があれば。親の介護が落ち着いたら。
- ・状況が整えば
- ・体調と相談
- ・自営業の為、家業を続ける
- ・年齢的にできないと思う
- ・現在やっている

問25 ボランティア活動をする場合、どのように活動したいですか(複数回答)

全体(n)=177



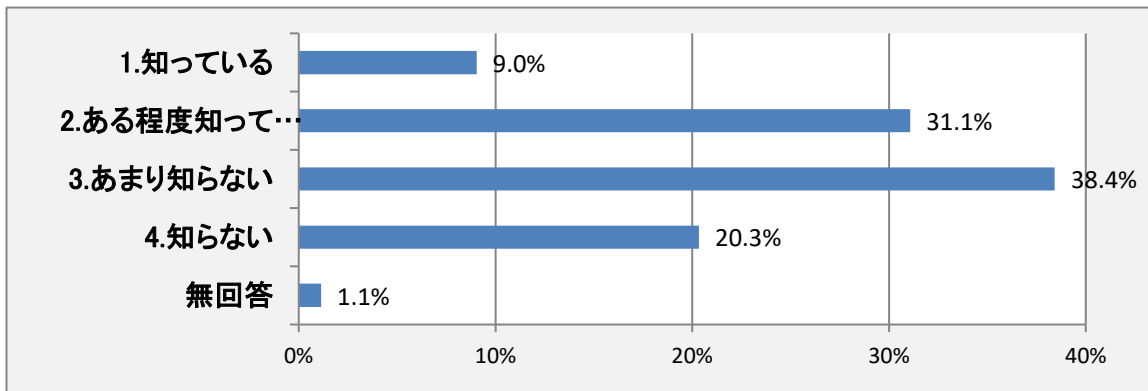
(その他回答の内容)

- ・友人達一緒に
- ・活動内容によって個人がよい時や、既存の団体で行う方がよい場合があるので、活動によって選択できるとよい。
- ・興味があれば何でも
- ・状況に応じて
- ・3~4少人数で

■ ボランティアセンター

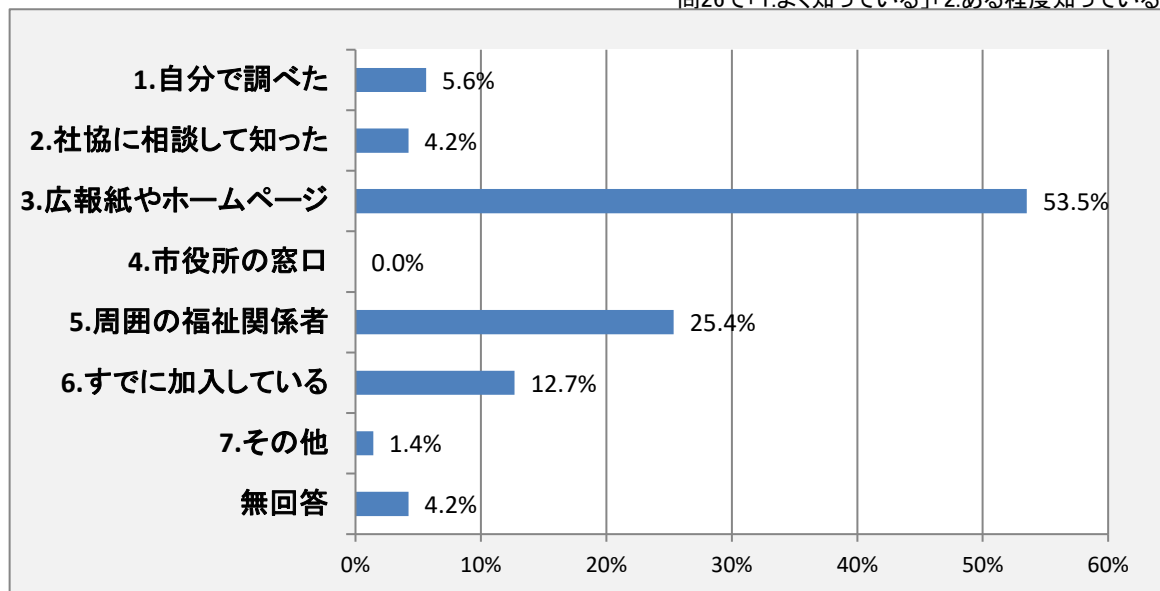
問26 社協が運営しているボランティアセンターを知っていますか

全体(n)=177



問27 問26で「1.よく知っている」「2.ある程度知っている」と答えた方にお聞きます。ボランティアセンターについてどこで知りましたか(複数回答)

問26で「1.よく知っている」「2.ある程度知っている」と答えた方(n)=71



(その他回答の内容)

・民生委員から教えてもらった

問28 ボランティアセンターに、どのようなサポートを希望しますか(自由記述)

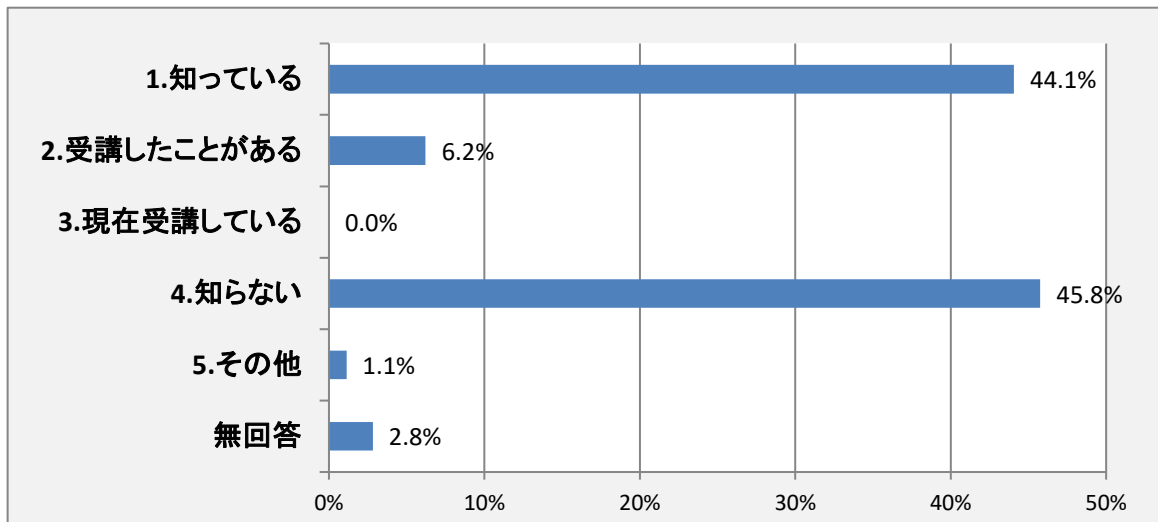
【自由回答】

- ・公的扶助では対応できない部分のサポート。
- ・身近な場所でのつどいの会が開催されても、会の開催や交通手段を自分で求めなければならないので、積極的な人以外の方が参加しやすいようなサポート。
- ・障害者もボランティア活動ができる体制づくりをサポートしていただきたい。
- ・誰もが無理ない程度に困っている人のお手伝いをしようと考えていると思う。ただ余計なお世話だったり失礼ではないかと心配してできないことがある。そこで、日常生活の中でできる簡単な手伝いや言葉かけの例などを提示してもらえると、一般の人の実践力UPに結びつくと思います。またそういう実践を取材して広めてもらおうと、できることをまねしてみようという人が出てよい活動が広がっていくと思う。
- ・養成講座が終わった後の活動への参加への支援が必要かな？と思います。団体活動は「何気なく！」の言葉も大事。
- ・超高齢化社会の中で地縁パワーが存在しています。当人はボランティアの意識はなく、そういう「活動」をクローズアップした調査分析、公表していただきノウハウ支援現物支援につないでは。
- ・話し相手。
- ・災害ボランティアセンター設置等における「ボランティア希望者」と「ボランティア受入希望者」との円滑な割り振り、連絡調整。
- ・災害等の支援活動

■ ボランティア養成講座について

問29 社協が主催しているボランティア養成講座を知っていますか

全体(n)=177

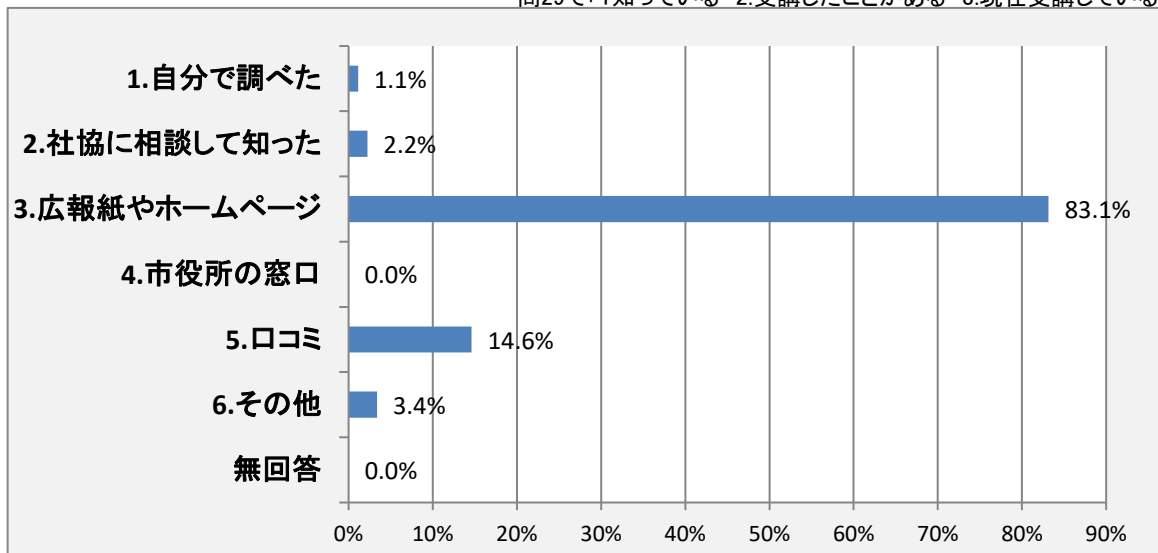


(その他回答の内容)

- ・知ってはいますが、仕事・家事・介護をしている為時間がありません
- ・話し相手とか護身術(65~75才くらいまでの比較的若い老人、又は義務教育中の学生(特に帰宅部)部活動をしていない子)

問30 問29で「1知っている 2.受講したことがある 3.現在受講している」と答えた方にお聞きます。ボランティア養成講座をどこで知りましたか？(複数回答)

問29で「1知っている 2.受講したことがある 3.現在受講している」と答えた方(n)=89



(その他回答の内容)

- ・別の会議での社協職員の話から
- ・民生委員

問31 ボランティア養成講座に、どのような講座があれば受講してみたいですか

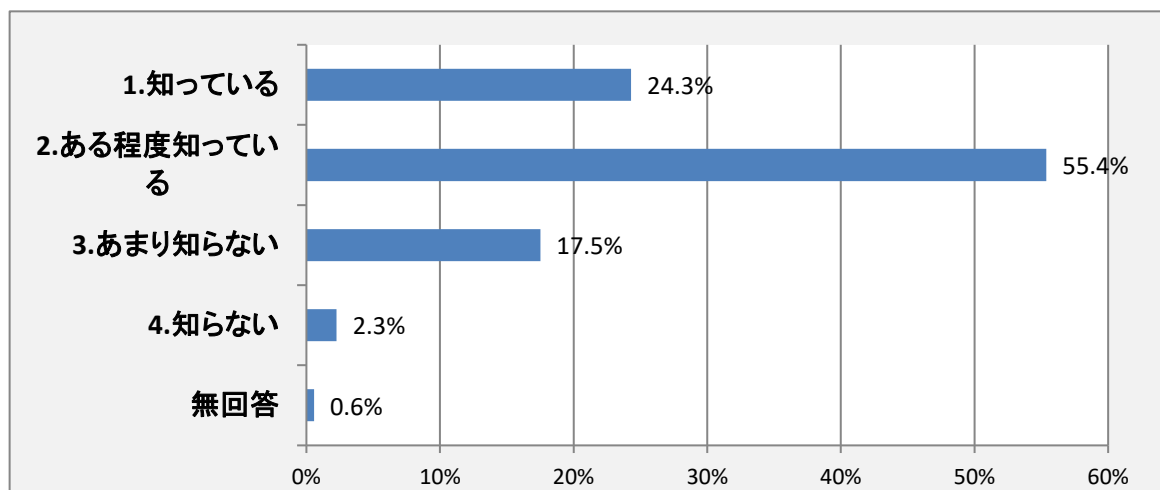
【自由回答】

- ・災害ボランティア
- ・交通指導(道路上の徒歩・自転車乗りの安全指導)
- ・子育て支援
- ・あれもこれもボランティア活動はできないのではないかと、その人に相当する、適した講座を若いときから養成すべきではないか？
- ・ボランティア入門・初心者向けボランティア
- ・子ども食堂ボランティア
- ・高齢者心理学
- ・高次脳機能障害ボランティア(サポーター)養成講座
- ・民生委員さんと連携し、独居老人宅訪問なんていかがですか
- ・障がいのある子(特に幼児期)の接し方や家族へのサポートについて
- ・ボランティアは大人ばかりするものだと思いがちだが、高校生のJRCクラブのように小学生からも活動できるようになれば良いと思う。それには広報も子ども向けがあれば良いのでは。(意識づけ)
- ・健康づくりに関する講座
- ・介護をしている家族支援

■共同募金配分金事業について

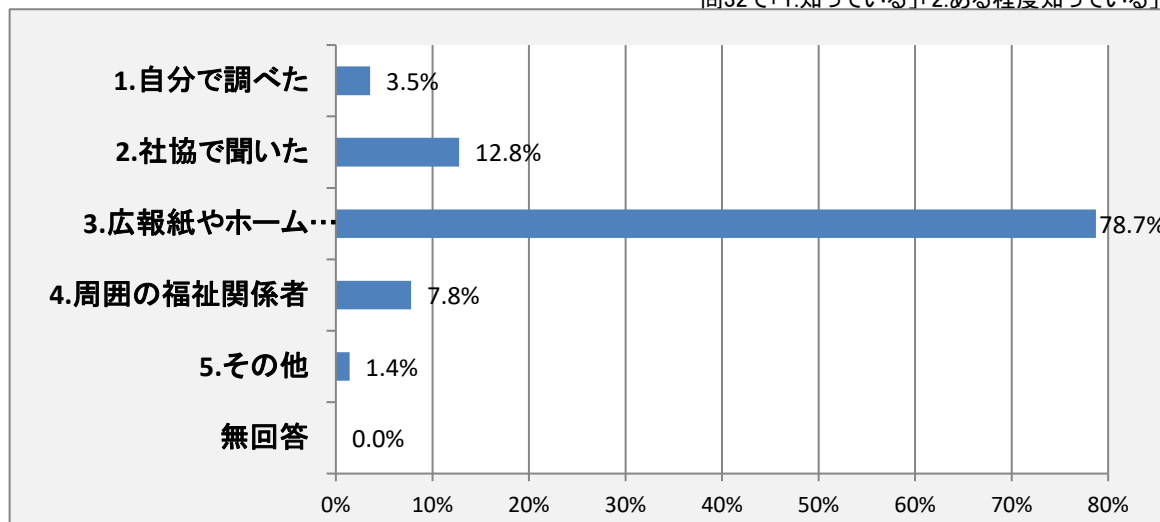
問32 赤い羽根共同募金が、どのように使われているか知っていますか

全体(n)=177



問33 問32で「1.知っている」「2.ある程度知っている」と答えた方は、使いみちについてどこで知りましたか
(複数回答)

問32で「1.知っている」「2.ある程度知っている」と答えた方(n)=141

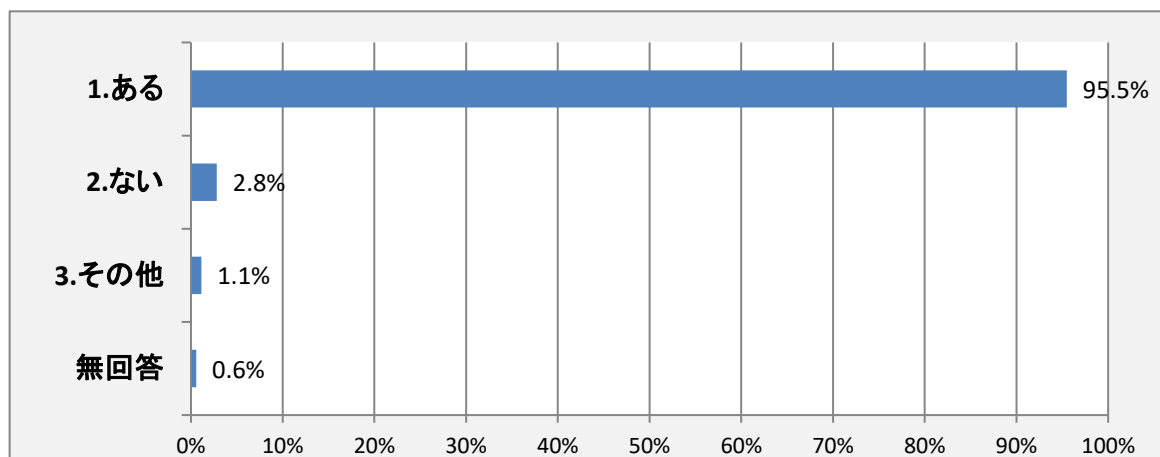


(その他回答の内容)

・学生の頃、募金活動に参加していた

問34 いままで募金をしたことがありますか

全体(n)=177

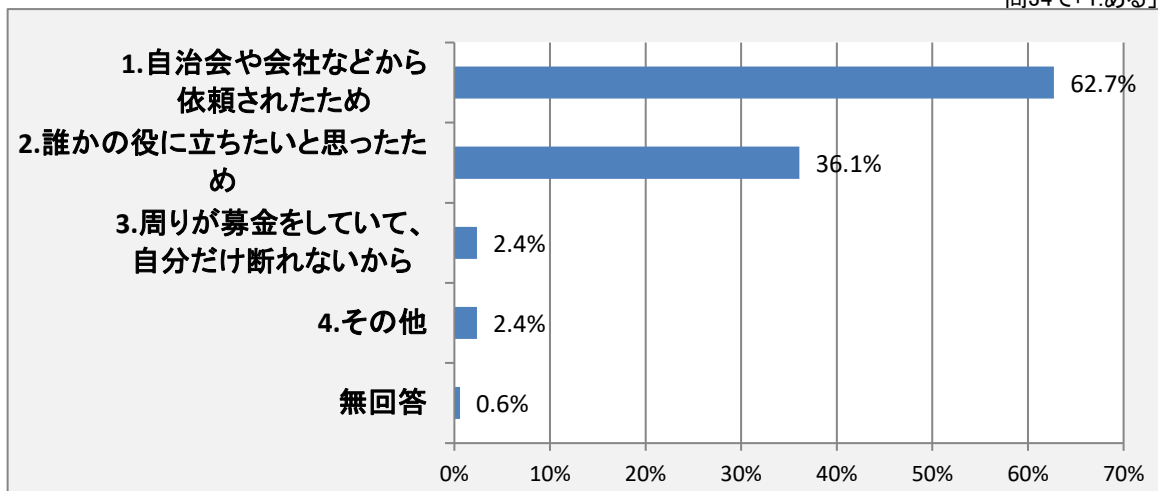


(その他回答の内容)

・自治会で一括でやっている。
・自治会で募金している。

問35 問34で「1.ある」と答えた方に、募金に協力した理由に○をつけてください(複数回答)

問34で「1.ある」と答えた方(n)=169

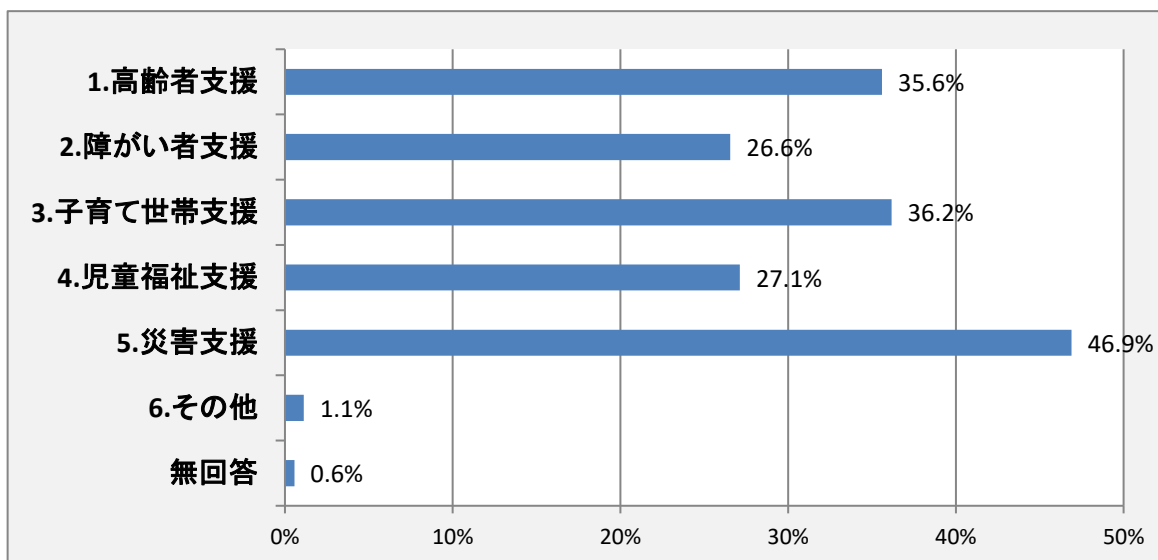


(その他回答の内容)

- ・長年協力しているため
- ・子供たちが学校からもらった
- ・お互い様

問36 どの分野の活動に、募金による支援が必要だと思いますか(複数回答)

全体(n)=177



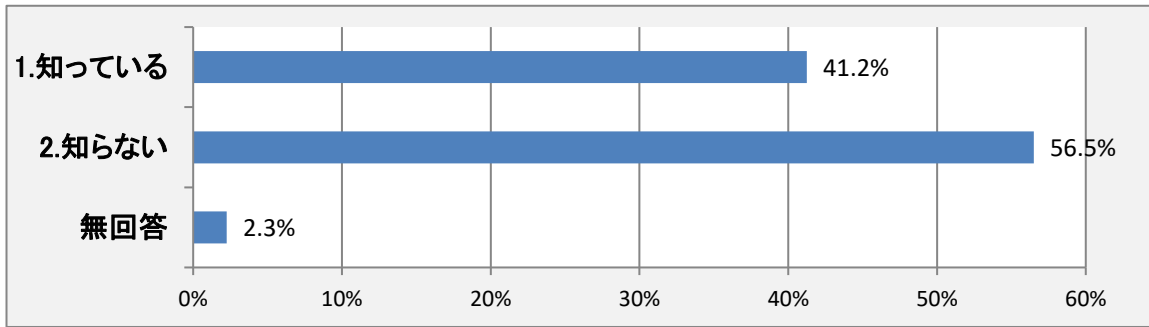
(その他回答の内容)

- ・本来は、国や自治体がきちんと支援することが必要と思いますが、目の届かないところが多いので、この支援はありがたいと思います。
- ・生活困窮世帯

■就労継続支援(B型)事業所 まごころ

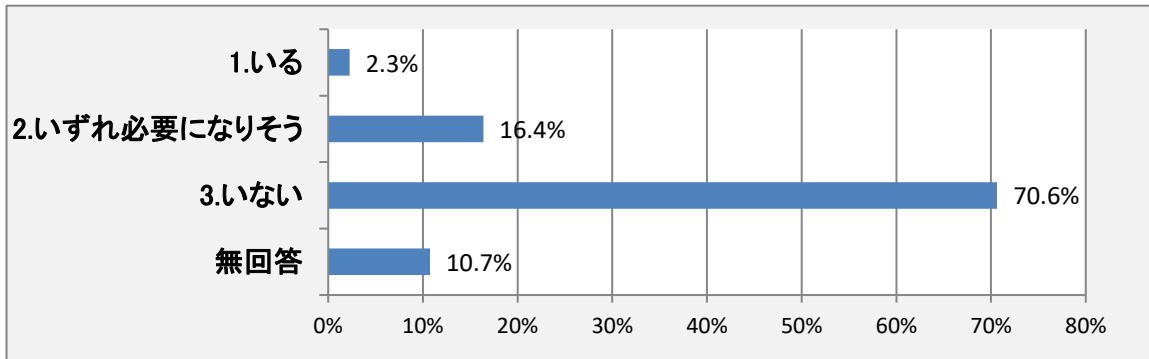
問37 社協が運営している就労継続支援(B型)事業所 まごころを知っていますか

全体(n)=177



問38 現在、関わりのある方や地域の方で、就労継続支援(B型)事業が必要な方はいますか

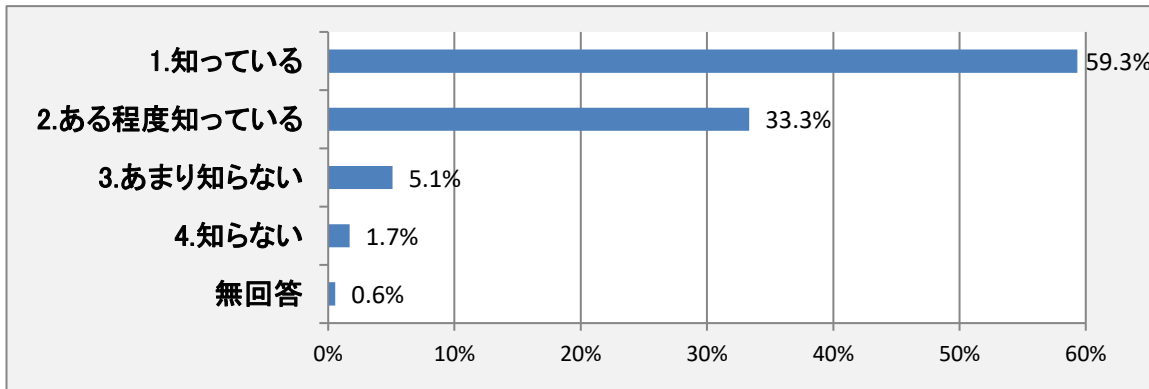
全体(n)=177



■地域包括支援センターについて

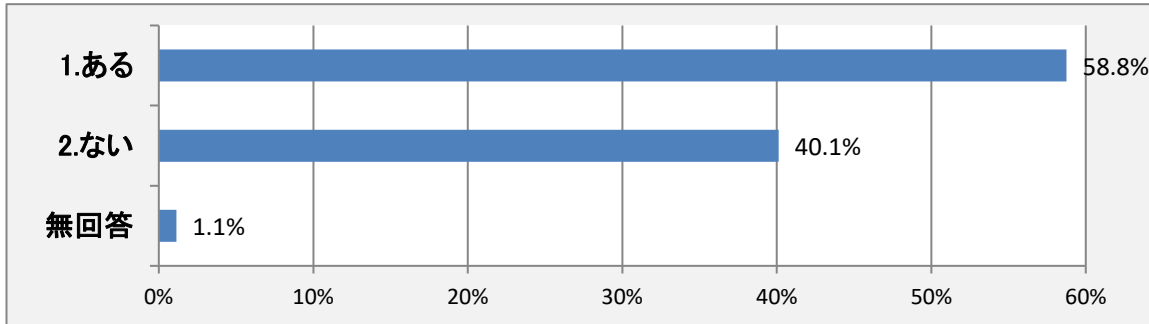
問39 地域包括支援センターの事業内容を知っていますか

全体(n)=177



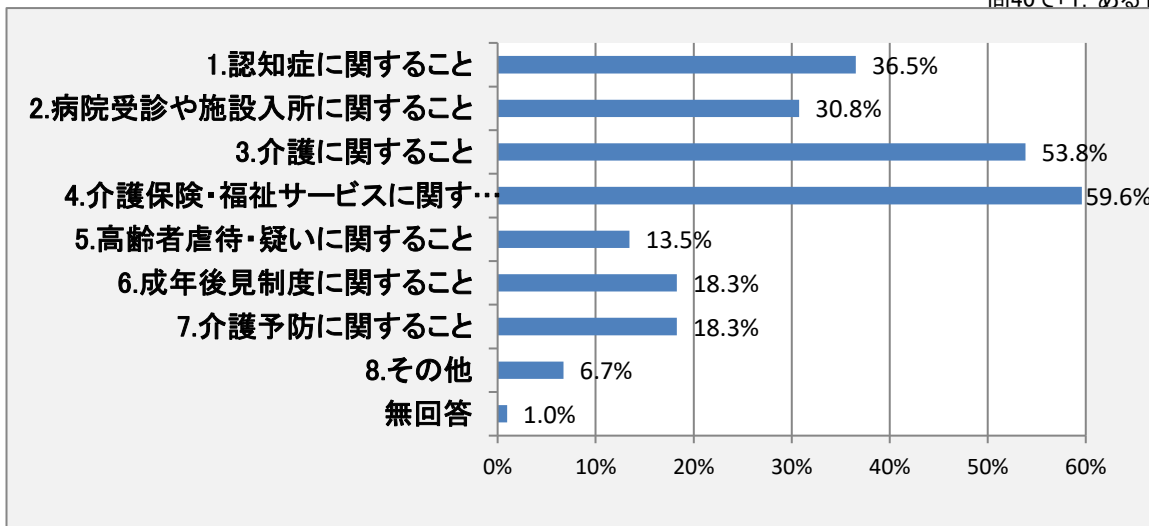
問40 地域包括支援センターに相談をしたことはありますか

全体(n)=177



問41 問40で「1. ある」と答えた方にお聞きます。相談した内容を次の中からお選びください(複数回答)

問40で「1. ある」と答えた方(n)=104

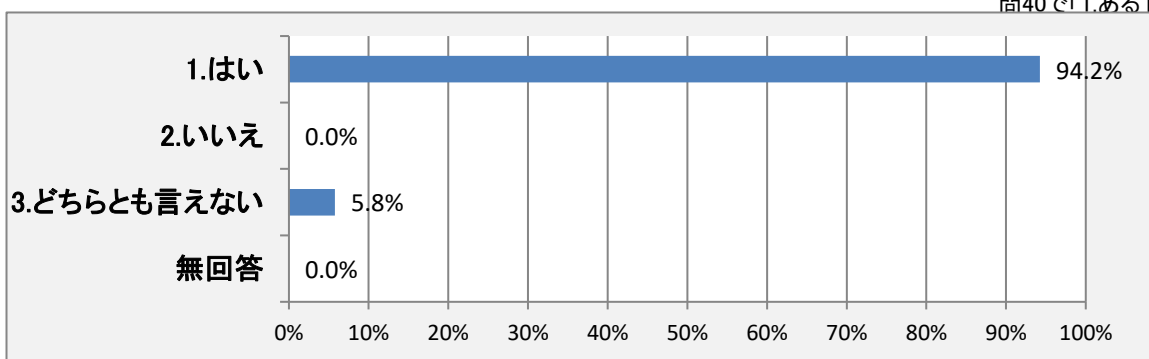


(その他回答の内容)

- ・生活保護
- ・高齢者同士(男女)のトラブル
- ・決められた日にゴミを出せない
- ・市の袋に入れない
- ・民生委員として相談しました

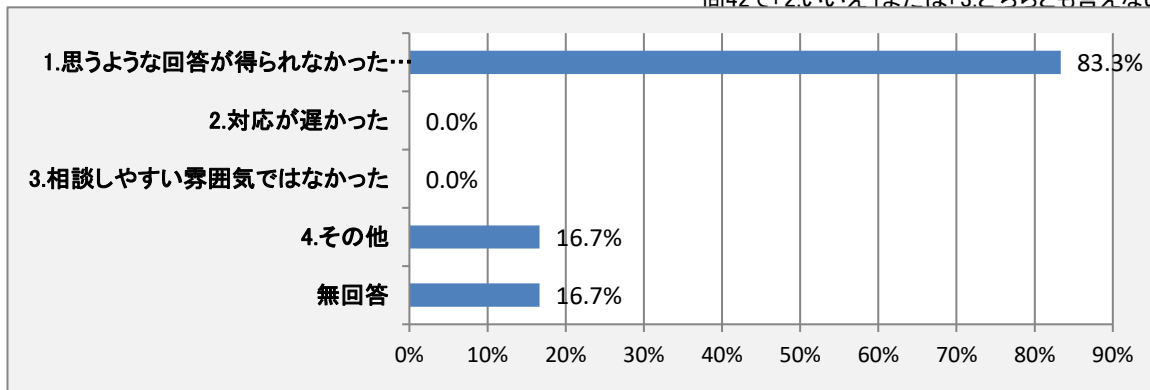
問42 問40で「1.ある」と答えた方は、相談してよかったですか

問40で「1.ある」と答えた方(n)=104



問43 問42で「2.いいえ」または「3.どちらとも言えない」と答えた方は、理由を次の中からお選びください。(複数回答)

問42で「2.いいえ」または「3.どちらとも言えない」と答えた方(n)=6

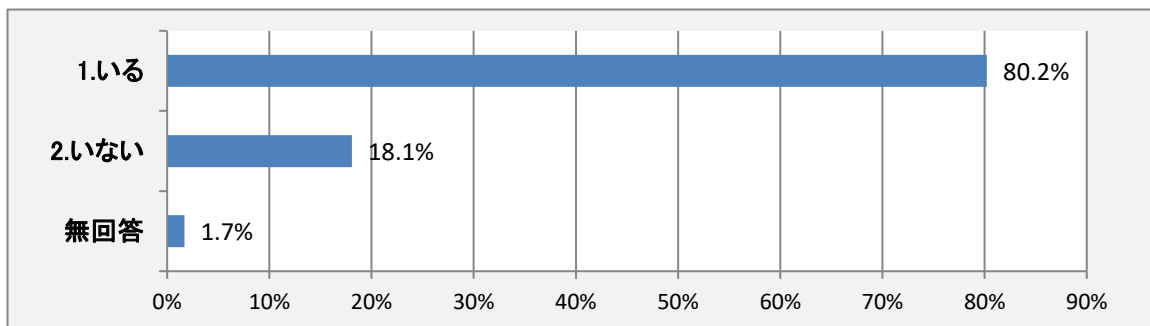


(その他回答の内容)

・対象事業がなかった

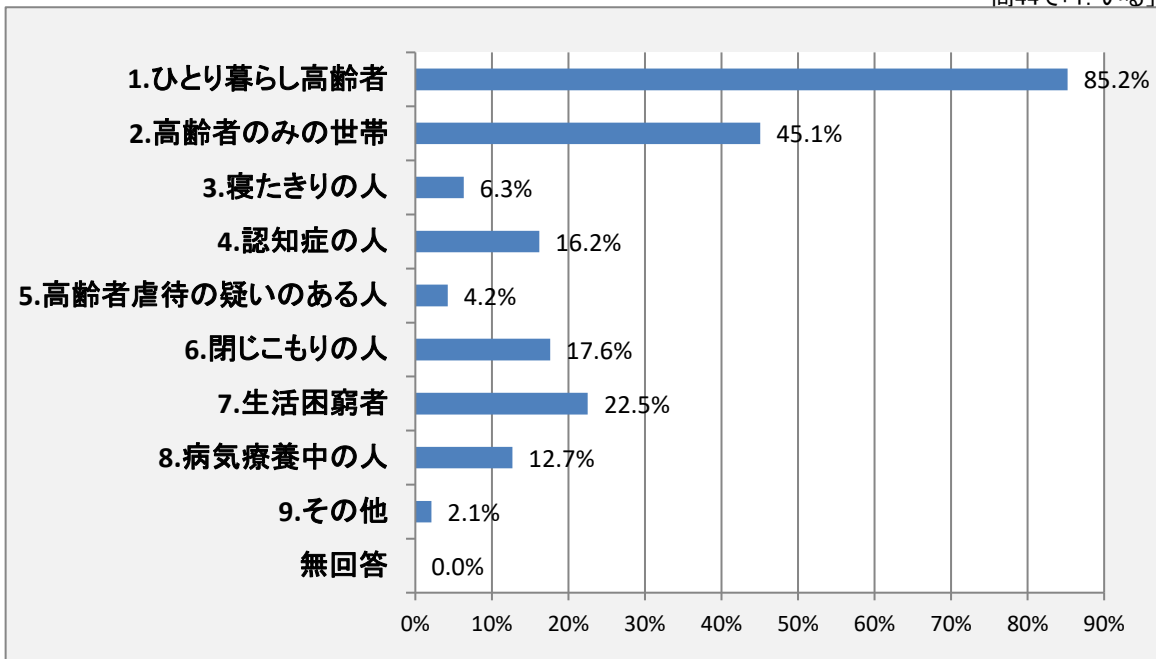
問44 地域の中で、見守り等の支援が必要な人や、気にかかる人(何らかの課題を抱えている人)がいますか

全体(n)=177



問45 問44で「1. いる」と答えた方にお聞きします
気にかかる人はどのような人ですか 次の中からお選びください。(複数回答)

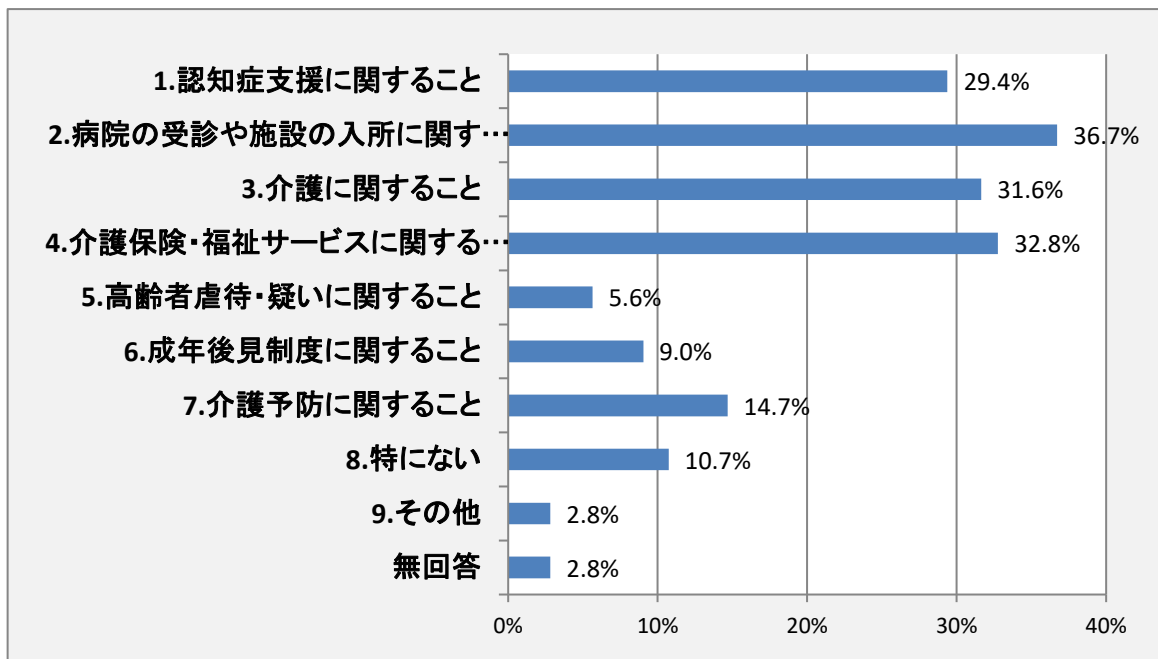
問44で「1. いる」と答えた方(n)=142



(その他回答の内容)

・65歳未満で病気がち、歩くのも困難な一人暮らし

問46 今後高齢者の総合相談窓口として、地域包括支援センターに力を入れてほしいことはありますか(複数回答)
全体(n)=177



(その他回答の内容)

- ・今のままでよい。
- ・いつも多方面に力を注いでいただき、ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。
- ・旧3町にはセンターがあるので支部役員は民協対象に講習会を定期的を実施しては。(呼びかけて任意参加なら問題はないと思います。)
- ・自治員、民生委員では生活状態等、なかなか把握することが困難な場合もあり、現在、叫ばれている、災害時の人命救助(避難)など、わかる範囲で教えて頂き、問題等を事前に把握できるよう共有できるような体制づくり(市、福祉と一体となり)を願いたい。
- ・包括支援センターの人は、皆、よく対応してくれて、困ったことを解決することができ、ありがたいと思っています。

問47 今後「こんな福祉サービスや事業があったらいいな」と思うものがあたら教えて下さい。

【自由回答】

- ・介護保険のサービスが入れない時間帯での見守り支援など。(18:00～21:00の間に1回声かけに来るなど)
- ・福祉施設の空き車輛(送迎車)を利用した移動支援サービス
- ・外国人が増えている。日本語を教えるような場所、相談を増やしてはどうか。
- ・移動販売車が来る地区と来ない地区があり、来ない地区に住まわれる買い物に困難な高齢者がいるので全地区に来られるようになればいいと思います。
- ・独居の方の病院受診時の付き添い送迎など行っていただけるサービスがあればいいと思います。(のり愛くんも順番待ちの時があり利用が難しいため)
- ・冬の暖房機器の燃料(石油)を自宅に配達。(特に高齢老々夫婦宅、独居宅)
- ・障がい者等の親亡き後の相談対応。
- ・身寄りのない人の入院や退院手続きをしてくれる。
- ・子どもが発達障害を持っているが、幼少期から療育等制度の案内や提案が全くなく不安な思いをした。積極的な情報案内をしてほしい。
- ・子どもや高齢者に対するボランティア事業が比較的多いと思われる。中年から高齢手前までの年齢層に対する事業があれば良いと思う。
- ・買い物支援(スーパーまで車で連れて買い物の手伝いをしてくれる)
- ・高齢者世帯において行政サービス等が分からない方もいます。民生委員の方々の活動も多岐にわたり大変とは思いますが、高齢者世帯や独居の人の隣近所の方などから情報を聞き取り孤立させないための、きめ細やかなサービスが必要だと思えます。
- ・介護保険サービスでは、まかなえない部分のヘルパー支援(もっと使いやすく)
- ・通院介助のサービスをもっと増やしてほしい。
- ・のり愛くんの利用をもう少し簡易的に、または筑西市近隣まで広げてほしい。
- ・日常生活自立支援事業のニーズはあると思うのでもう少し支援者を増員し相談の門戸を広げる。→成年後見制度の利用支援にもつながるので。
- ・身寄りのない人の相談対応。
- ・見守り、おしゃべり支援。
- ・課税申請や障害者基礎年金の申請、受給者証の受け取りなど、障害があり手続きが困難な方に対して、代わりに申請してくれる事業。(指先の障害、目の障害があり書類がかけない一人暮らしの障害者に対して、書類の手続きをしてくれる事業)
- ・空き家問題/ひきこもり/高齢化の買い物代行
- ・身寄りのない高齢者が相談しやすい(本人亡き後の話)
- ・高齢者に対するSNS,IT,ネット等のサービス

【自由回答】

- ・これから超高齢化の時代、困難な事案は増えると思うので、専門的な方を増やしていただきたいと思います。
- ・ヤングケアラーへの相談、援助等
- ・障がい者へのスポーツ等の誘い
- ・相談内容で成果があった事を、広報紙等で周知して相談がしやすい様にする。一般の人が悩んだ時、いきやすい様にする。知らない人や無関心な人にも、多くの人に知ってもらう。
- ・高齢者夫婦の片方の病気、施設入所となり、独居状態になっても独居とはならずサービスも受けられない。何かいい方法は？
- ・社会福祉について、“まごころ”広報紙、ネットなどの広報活動にだけでなく、より市民に伝わる活動が必要かと思う。知っている人だけが利用できるネットワークでなく知らない人が利用方法を知り、日常生活が豊かになるようにしたい。各町内で研修会を開いてみたい。少なくとも各自治会の役員は知ることとなると思う。
- ・皆と顔合わせや通信ができる、何かシステムや出てきやすい催しを、まずはスマホ等でつのもよいと思われる。
- ・福祉サービスの実際の利用者の生の声と社協スタッフの生の声を発信してくれると身近に感じられてくると思います。
- ・高齢者等に対する買い物支援・移動支援
- ・お弁当の宅配サービスのおかずが油っぽいものばかりで(揚げ物)食べられないとの声があります。
- ・空き家の管理、活用の仕方、解体等の相談対応。
- ・ひとりで生活していて身寄りがない人の相談対応について。
- ・若い世代の低所得者支援。
- ・外国籍の児童が増えているので、そうした家庭が地域になじめるようなサポートがあるといいと思います。
- ・ひとり暮らしの方でゴミ捨てに行けない場合に代わってゴミ集積所にもっていく。最近の新聞で小美玉市が実施している旨の記事が掲載されていたのを読み良いことだなと感じた。有償ボランティアであったが。

問48 みんなで助け合い・支えあう地域社会をつくるため、何かアイデアがあれば教えてください。あなたができると、地域で取り組むことなど、何でも結構です。

【自由回答】

- ・コロナ禍で難しい状況ではありますが、地域に住む子どもから高齢者まで老若男女問わず関わりの持てる場があるとよいと思う。例えば、バザー、フリーマーケットを開催し、買い物を楽しみつつ、ちょっとした会話を持つことで、コミュニティが生まれると思います。今はちょっとした会話を持つ関係性もほとんどみられない世の中なので・・・
- ・今後高齢化が進むと、一人暮らしになる人が多くなる。近くに子供や親類がいない場合は「寂しい」とか「誰も頼れる人がいない」と不安にもなる。近所とのつながりが大切になるので昔の「井戸端会議」のように近くの人が集まりとりとめのない話ができる場があれば良い。
- ・ボランティア活動の案内通知を各企業に出してはどうか。個人では、なかなか情報収集もできないし「一人では嫌だ」と思っている人も仲間と一緒になら参加しやすいのではないかなと思う。
- ・相談窓口が分からない問題について、相談できる窓口として社協が存在して下さると安心です。
- ・生きがい講座、生きがいサロン、元氣ぶらす教室への送迎サービス
- ・ボランティアなどのPRなどをもう少し強化し、参加しやすい取り組みを検討してはどうか。
- ・ボランティアのメンバーは限定的かつ高齢化しており、若い方を増やすことが大切だと思います。(若い方に何が出来るかを考えることから始めなければいけません)
- ・地元の会社や従業員を中心とした狭い範囲(グループが大人数では他人事になるのでは?)の支援体制を行政と社協が協力して構築できたらと思います。
- ・沢山の福祉サービスがあるのに、一人一人の元に届いていないと思います。情報共有が大事だと思います。お会いした方に積極的に声をかけて行きたいと思っています。
- ・特に具体的なアイデアはないですが、社協の方はささいな相談にも真剣に対応して下さい心強く思っています。近所づきあひも難しくなっているため、対応も大変とは思いますが今後ともよろしくお願い致します。
- ・一人一人が気にかけて、注意していてもなかなか難しいのでグループで見守りができたら。
- ・誰でもちょっと休める外ベンチを多く設置できたら交流が増えそれをきっかけにいざという時の助け合いにもなるのでは…と思います。

【自由回答】

- ・社協でしている事業がほとんど知らない方が多い。民生委員や自治会の役員などにもっと周知すべきと思う。
- ・年齢制限無しの援助。
- ・新たな募金活動、一事業所だけでなく個人でも募金に関心と能力がある方が増えているのでは。
- ・個人情報障害になり動けなくなった。又、従来の地元の方が対象だったが、現在はどこから来た方もわからず、家族構成等もわからないのでコミュニケーションをとりづらい。市も上記が問題で、答えてもらえないことが多く問題の解決に動けない。トラブル発生しないボランティアでは、自主的に活動できない。
- ・家で眠っている物や忘れられている食品を3~4ヶ月毎にきれいにし、他で活用する事を心掛ける。
- ・どこの町内もひとり暮らしと高齢者が多くなってしまい助け合う支えあう前に、自分の事を守るのが懸命になってきているので、どうか良いアイデアと思うのは同じ気持ちで若い人に動いていただきたい。
- ・以前にあった地域でのレクリエーションの復活。特に高齢者等を巻き込んでの。
- ・地域が昔の様に自治会の中に老人会、婦人会、子ども会があり、活動しやすい様にする。先進地を視察し、モデル地区を作り、お金を出す。補助金をやり、自治会が各会に助成をし、活発な所は表彰する。
 - 子ども会が老人、親と三世代交流(スポーツ、レクリエーション)
 - 婦人会が自治会に協力して、手作り敬老会をやる。(食事会)
 - 老人会が子どもに昔話を教えたり、集落での花壇を子どもと作る。
 - 野菜やそばを畑で作り、収穫祭を行う。(母子家庭や一人暮らし老人会)
 - 集落でもし災害があった場合どうするか、各会交えて話し合う。そして、必要な物を確保したり、訓練する。
- ・老人クラブに予算配分を見直してもらいたい。特別会員にて集金等ムダ使い。障害者児童等に使用してほしい。
- ・社協支所は地区の福祉活動の拠点だと考えていました。地域には小さい(組織化されていない)ボランティア活動が沢山あります。まずは掘り起こしたり、育成支援をしたり、支所が拠点になればいいですね。
- ・自治会の活動がコロナの影響か、低調のように思われます。支えあう地域社会の中心として活動して頂きたい。

【自由回答】

- ・筑西市には、小貝川、五行川、鬼怒川など自然の美しい財産がある。計画的に、常に美しい街づくりを目指したい。
- ・市の福祉サービス事業に賛同する「支援金」を売価に含めた商品づくり(道の駅、市内商店等への依頼)
- ・役立ち感を得られる取り組み。
- ・他人には小さなことと思っても相談者にとっては大変なことかもしれないのでその人に寄り添った対応をしていければと思います。
- ・住民意識向上のためにも、ハンディのある人もない人もどんどん地域行事等に一緒に参加できるようになったらいいなあと思います。
- ・コロナ禍ですが、おしゃべり、ふれあいの場、高齢者同士の絆を深く、三世代交流を深くしたい。
- ・個人に配布できる絵付きのサービス内容の印刷物を作っていたら高齢者の方々も分かりやすいのではないのでしょうか。
- ・むずかしい問題です。自治会全体が高齢者が多いので近所、隣の人達で助け合うことでしょうか？
- ・介護予防教室などにセンター(集落センターなど)まで出かけられないで高齢者が家に閉じこもってる人が多数見られます。車に乗れない、自転車は危ない、歩くと遠い、人には頼めないなどの声がありました。
- ・各地域にある空き家、閉店した店などを利用して地域の人が集まって楽しめる場所づくりが出来るいいと思います。
- ・自治会の強化。一言、声を掛け合うことによって、地域の輪と和が広がると思います。
- ・行政、社会福祉協議会、自治会、民生委員児童委員、その他関係者が連携して、「民生委員児童委員のなり手不足」に対応する仕組みづくりを進める必要があります。
- ・アンケートのご依頼をいただいてから考えたことが二つあります。
まず、一つ目ですが、『みんなで助け合い・支え合う地域社会をつくる』には、各地域の一人一人が社会福祉協議会の実施事業をよく知っていることが必要だと思います。二つ目は、地域の人たちがどのような福祉事業を必要としているかを知ることだと思います。
社会福祉協議会は実施事業が多く、大変だと思いますが、どの事業を必要とする家庭が相談や申込がしやすくなるよう、よろしく願います。